

# 立候補者広報 1

## 《理事立候補者》

赤坂 清和

埼玉医科大学 保健医療学部

### 〈立候補趣旨〉

こんにちは。埼玉医科大学の赤坂清和でございます。これまで、埼玉県理学療法士会の理事として通算で6期12年間、広報局、事業局、学術局、教育局において局長を担当させていただき、それぞれの立場にて成果を出して参りました。また、埼玉県理学療法士会の代表として、日本理学療法士協会代議員を務めさせていただき、理学療法士の全国的な団体としての活動についても注視しています。現在、多くの医療機関や理学療法の臨床では、Covid-19による影響を受けていることに加え、診療報酬や理学療法士養成教育、新たな生涯学習、分科学会の法人化と理学療法学の学術の推進など多くの新しい課題を抱えている状況であります。これらの諸問題に対して微力ではありますが、皆さまからのご指導ご鞭撻をいただきながら、課題の解決に向けて取り組んで参りたいと考え、2021年度本会役員選挙において理事に立候補させていただきました。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

阿久澤 直樹

医療法人瑞穂会 川越リハビリテーション病院

### 〈立候補趣旨〉

2017年より埼玉県理学療法士会の理事を務めさせていただき職能局を担当させていただいております。職能局では主に地域包括ケアシステムの構築と深化に向けた人材育成について研修会を企画運営してまいりました。その中で社会をマクロ視点で見るとまだまだ理学療法士の活躍の場は多くあるとともにそれに適応する職能の強化も必要であると痛感しております。急速な時代の変化を読み、切り開く多彩な人材の育成について、私自身を含めて引き続き進めていく必要があると考えます。保険内外問わず、社会に必要とされる理学療法士を増やす尽力を継続すべく立候補させていただきました。よろしくお願いいたします。

## 立 候 補 者 広 報 2

### 《 理 事 立 候 補 者 》

乙 戸 崇 寛

埼玉医科大学 保健医療学部

#### 〈 立 候 補 趣 旨 〉

昨年度より専門性委員会理事として1年間活動し、装具療法地域連携対策委員会、学校保健・特別支援教育推進委員会の発足調整と活動支援を行って参りました。今年度は、がんリハビリテーション推進委員会、糖尿病対策委員会を合わせた4つの委員会が機能的に活動できるように取り組んでいきたいと考えております。各委員会の活動は、会員への専門的な情報の提供と研修による技術支援が中心となりますが、最終的には県民の利益につながることを公益社団法人の活動目的であることを念頭に置き、事業局との連携、ならびに成果の積極的公表についても統括していきたいと考えております。

新人会員の興味や関心を有機的に繋げる場を提供すること、またそれぞれの領域において意欲、能力の高い会員の事業参加を促すことも埼玉県理学療法士会の発展に重要であり、その一端を専門性委員会で担うことができれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

三 宮 将 一

社会医療法人社団尚篤会 赤心堂病院

#### 〈 立 候 補 趣 旨 〉

この度、埼玉県理学療法士会の理事へ立候補をさせていただきました。前年度においては、理事として広報局長の役職に就かせて頂きました。これからの超高齢化社会へ向かうにおいて埼玉県理学療法士会の担う役割は非常に大きく、特に会員向けへの士会活動の情報発信や一般県民向けへの理学療法士の啓蒙活動など、役割は多岐に渡ります。未だに世間は新型コロナウイルスの感染拡大において対面での研修会の開催が難しい状況において広報局長としてどうすれば会員への情報発信が広く行う事が出来るかと考えて来ました。今回、広報局インターネット管理部においても新たに YouTube チャンネルを開設し、まだまだ十分ではありませんが、学会 PR 動画や各部局での研修会動画を投稿する事が出来ました。今後は、県民の方を含めまして一般の方に幅広い「理学療法士」の活動について情報発信が出来ればと考えています。埼玉県理学療法士会における情報発信や新たな取り組みを行い、若い世代の会員への「教育」や「育成」の糧になって頂きたいと考えます。また、埼玉県理学療法士会の組織においても若手の登用も重要であり、同じ志を持っている様々な仲間がいます。この埼玉県理学療法士会をさらに飛躍の出来る担い手になればと思い、今回の理事へ立候補を致しました。引き続き、埼玉県理学療法士会の理事として皆さまの役に立たせて頂ければと思います。どうぞ、宜しく願い致します。

# 立 候 補 者 広 報 3

## 《 理 事 立 候 補 者 》

宇野 潤

大崎むつみの里 第1事業所

### 〈 立候補趣旨 〉

この度、埼玉県理学療法士会理事に立候補いたしました宇野潤と申します。平成 29 年より南部ブロックさいたまエリア長を務めて参りました。

国や自治体の政策に「地域」が謳われる中、私たち理学療法士も地域に根差した活動が大切です。地域で活動していくには、一事業所だけではなく、近隣の事業所に所属する会員同士の連携が欠かせません。これまで南部ブロック理事や運営委員と共に、地理的に近い会員同士の横のつながりを高めることを目標に様々な事業の実施に携わらせて頂きました。

これからも、会員の皆様のご意見、ご協力を頂きながら、会員同士の顔の見える関係作りを促進し、会員間の意思の疎通が図られるよう努めたいと考えています。宜しくお願い致します。

田口 孝行

埼玉県立大学 保健医療福祉学部

### 〈 立候補趣旨 〉

2020 年度の理学療法士作業療法士指定規則改訂に伴って、臨床実習指導者要件や理学療法教員要件が追加されたことから理学療法士の「質の向上」が求められ、また、入院期間や診療報酬の設定において「エビデンス構築」が求められております。そこで、日本理学療法士協会を中心として、臨床実習指導者講習会の実施、来年度からの新生涯学習制度の施行、登録理学療法士の称号新設、認定・専門理学療法士の称号の位置づけの明確化などが行われております。これまで、本会副会長として、主にこれらに関わり、会員の皆様との情報共有や事業実施に努めてきました。このような取り組みはまだ始まったばかりですので、今後、会員の皆様がこのような制度等をフル活用して理学療法士の質向上を目指せるよう、皆様と一緒に考える（公社）埼玉県理学療法士会の活動に寄与して参りたいと思い、（公社）埼玉県理学療法士会・理事に立候補致しました。

## 立 候 補 者 広 報 4

### 《 理 事 立 候 補 者 》

南本 裕之

医療法人光仁会 春日部厚生病院

#### 〈 立候補趣旨 〉

この度、埼玉県理学療法士会理事に立候補致しました南本浩之です。理事として6年間、会長として4年間、様々な取組みを行ってまいりました。会員皆様のご意見を聴取させて頂き、理学療法の新たな専門領域への教育体制の強化、学会など学術への自己研鑽の奨励、地域包括ケアシステムの構築推進のため他団体との連携強化、職能向上のため政策検討組織の構築、育休休会者会費無償化など会員福利厚生強化、事務局機能の強化、特に会員皆様の意見聴取に基づく士会運営システムを構築し、会員の意見による、会員のための運営が出来るよう取り組んでまいりました。昨年度は、コロナ禍において士会活動をWeb中心に切り替え継続する事に努力致しました。今後も会員の皆様と一緒に理学療法（士）が、さらに発展していけるよう埼玉県理学療法士会の運営を会員の声の下、変革推進に努めていきたいと思ひ立候補をさせて頂きました。皆様何卒よろしくお願いいたします。

横山 浩康

社会医療法人 熊谷総合病院

#### 〈 立候補趣旨 〉

私はこれまで北部ブロック理事や第28回埼玉県理学療法学会学会長など、埼玉県理学療法士会に携わってきました。

近年、理学療法士数は爆発的な増加の一途を辿り、埼玉県理学療法士会も漏れなく同様の状況が続いています。少子高齢化の情勢から理学療法士数が増加し社会問題への対応においては心強い傾向であると考えますが、一方でその変化への対応は様々な状況で問題をはらんでいる可能性を否定できない状況であるとも認識しています。

この状況に対しては、埼玉県理学療法士会会員が一丸となって乗り越えることが肝要であると考えています。私のこれまでの経緯から、埼玉県理学療法士会会員のつながりを大切にしながら、現状あるいは今後発生する可能性がある諸問題について会員の皆様と解決に向かう一助になりたいと思ひ立候補した次第であります。

# 立 候 補 者 広 報 5

## 《 理 事 立 候 補 者 》

原 田 慎 一

敬愛会 リハビリテーション天草病院

### 〈 立候補趣旨 〉

(公社) 埼玉県理学療法士会理事に立候補させて頂きました、リハビリテーション天草病院の原田慎一と申します。平成 21 年度からインターネット管理部長を 4 期、その後は広報局長、昨年度は副会長として活動させて頂きました。

WEB サイト、総会システム、リハビリテーションマップなど主にシステム関連業務が主体ではありませんでしたが、県士会の各組織との協業や、日本理学療法士協会との関わり、埼玉県理学療法士会内外からのお問い合わせや依頼対応等を通じ、(公社) 埼玉県理学療法士会に求められているものが多岐に渡り、改めてその社会的役割の重要性を認識しております。

今後も会員の皆様の利便性の向上はもとより、埼玉県理学療法士会の活動が円滑に行われ様々なニーズにお応えできるよう、今後も微力ながら士会運営に携わっていきたくと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

水 田 宗 達

埼玉県総合リハビリテーションセンター

### 〈 立候補趣旨 〉

公益社団法人埼玉県理学療法士会事務局長として 8 年間、副会長として 4 年間士会活動に参加させて頂き貴重な経験をさせて頂きました。この間新規事務職員の採用、規程の整備、グループウェアや遠隔会議システム、議決権行使電子化の導入、代表者会議の開催、育児休業割引・シニア割引・災害時の会費免除見舞金制度の整備など事務局関連業務を中心に微力ながら取り組んで参りました。現在埼玉県理学療法士会の会員数は 5000 名を超えて大変大きな組織となり、様々な領域で多様な働き方をする会員が増えてきました。このような多様な働き方をする会員の皆様に必要な組織となるために皆様の声を聞きながら社会の変化に柔軟かつ迅速に対応できる士会組織を作っていくと思っております。微力ではございますがこれまでの経験を活かし、会員の皆様のお力が埼玉県民の医療・保健・福祉の増進に寄与するための一助になるよう尽力させて頂きたく思いますので何卒宜しくお願い致します。

# 立 候 補 者 広 報 6

## 《 理 事 立 候 補 者 》

渡邊 雅恵

さいたま市立病院

### 〈 立候補趣旨 〉

この度、理事に立候補しましたさいたま市立病院の渡邊雅恵と申します。2006年から2010年までは復職支援システム検討委員会委員長を務め育児で職場から遠のいていた理学療法士がスムーズに復職できるような活動をおこなっていました。2011年から2018年までは理事で事業局長、副会長を務め主に理学療法士の啓蒙活動を中心におこなってきました。その後は理事を退き臨床に力をいれて他職種と連携をおこなっていましたが、理学療法士の仕事内容等が他職種にまだまだ理解されていないことを痛感致しました。また、私が理事を退くと理事に女性不在の時期ができてしまったことに愕然としました。再度、理事に立候補し女性が県士会活動に参加しやすい環境について検討すること、および理学療法士の啓蒙活動について再度検討できればと思います。よろしくお願いいたします。

岡持 利亘

医療法人真正会 霞が関南病院

### 〈 立候補趣旨 〉

これまで、(旧)老人福祉部長、西部ブロック理事、職能局長、副会長を担当させていただきました。

令和元年からの任期では、主に職能局を担当し、職能局長・医療保険部・介護保険部・業務推進部・地域包括ケア推進部の各部長と協力し、職域の拡大に役立つよう、研修等を実施いたしました。

また、埼玉県および医師会をはじめとする多団体とともに、地域リハビリテーションおよび地域包括ケアを推進する中で、多くの会員を地域での活動につなげたいと考えています。

平成28年3月より、埼玉県内のリハ三職種での協働を進めるため、埼玉県リハビリテーション専門職協会の運営にも協力し、埼玉県および市町村とともに、医療・介護保険以外にも、地域で安心して暮らし続ける基盤づくりを進めつつ、そこに協力できるリハビリテーション専門職の輪を拓げていきたいと願っています。

今後も、埼玉県内における地域でのリハビリテーションを充実させる取り組みを継続していきたいと希望しています。

引き続き当会理事として、微力ながら貢献できればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

# 立 候 補 者 広 報 7

## 《 理 事 立 候 補 者 》

菊地 裕美

介護老人保健施設 一心館

### 〈 立候補趣旨 〉

地域包括ケアシステムが進み、住み慣れた地域で自分らしく、生き生きとした生活を最期まで送れるようにするための対策について、厚みをだしている段階です。特に介護予防・障害予防において理学療法士は大きな役割・期待を担っています。そこで、4つの「助」（自助・互助・共助・公助）の力を連携させて、さまざまな生活課題を解決していくために、理学療法士としてどのような役割を担えるのか、組織的な取組が必要と考えております。私は埼玉県理学療法士会において、健康増進部をはじめ、地域包括推進部、災害対策委員会（委員長）として携わってきました。また、業務での訪問リハビリでは”地域および生活課題“に直接的に関わる機会が多く、地域を元気にする実践の経験を積んでいます。これらの経験を活かし、地域住民の暮らしに寄り添って一緒に考えることができる理学療法士組織を目指したいと思い、（公社）埼玉県理学療法士会・理事に立候補致しました。

渡邊 賢治

一般社団法人 TMG 本部

### 〈 立候補趣旨 〉

昨年度より職能委員会担当理事として、また新型コロナウイルス感染症における在り方検討委員長と活動させて頂きました。昨今の新型コロナウイルスの問題をきっかけに、医療・介護の提供体制のみならず、我々理学療法士を取り巻く環境も大きく変化するのではないかと予想されます。

我々が県民からの期待に答え続けていくためには 諸先輩方が培われた知識と経験を活かしつつ、新しい時代のニーズに即したこれからの理学療法を「創造」し、我々の手で「構築」し、速やかに「展開」していかなければならないと感じております。

このビジョンの実現に向けて組織力の強化、そして医療・介護・福祉領域にとどまらず、さまざまな領域の方とも協働しながら取り組んで参ります。

# 立候補者広報 8

## 《理事立候補者》

茄子川 知浩

医療法人健仁会 益子病院

### 〈立候補趣旨〉

この度、公益社団法人埼玉県理学療法士会 理事に立候補いたしました。私は、平成 27 年より事業局高齢者福祉部長を担当させていただきました。公益事業を部員と協力して、リハビリテーションを取り巻く多くの職種と情報を共有するための研修会を開催いたしました。また、平成 31 年度より事業局長として、体験を通して、障害の発生を予防することを目的とした事業や、地域のリハビリテーション資源を見える化するための事業など、一般県民を対象とした事業にも取り組んでまいりました。今後は、新型コロナウイルス感染症と共存し、住みやすい地域を構築していくために必要な情報を、会員の皆様、リハビリテーションを取り巻く職種の方々、県民の皆様と共有していければと考えております。当会理事として、微力ながら貢献できればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

櫻場 勝

医療法人社団協友会 吉川中央総合病院

### 〈立候補趣旨〉

東部ブロック理事に立候補させていただきます吉川中央総合病院の櫻場です。1期2年の任期を務めさせていただきました。

新人教育プログラムの制度の改定や新型コロナの影響などにより、ブロック活動に求められる内容も大きく変わってきていると感じています。より横のつながりを強化させることが、ブロックの活動に求められていると感じています。埼玉県理学療法士会の組織力の強化、理学療法士の質の向上などに貢献できればと考えております。



# 立候補者広報 9

## 《理事立候補者》

兵頭 甲子太郎

目白大学 保健医療学部

### 〈立候補趣旨〉

今回、はじめて役員選挙に立候補いたします。私は今まで「理学療法—臨床・研究・教育」の編集委員として仕事をさせていただきました。また、教育機関において10数年の間仕事をして参りました。その間、多くの皆様にお力添えをいただき、様々なことを学ばせていただきました。特に今は、養成機関で働く者として、これからの理学療法士育成に関する教育や臨床での研究の重要性を感じております。日本の理学療法が発展し、多くの人々から望まれるものとなるためには、この2点について考えていくことが重要課題の1つであると感じております。私にできることは微力ではございますが、皆様のお力をお借りしながら、活動して参りたいと考えております。宜しく願いいたします。

吉川 貴矩

医療法人尚寿会 大生病院

### 〈立候補趣旨〉

県士会の会員数も増加し、事業の内容は多岐にわたっています。会員数の増加だけでなく、一番大きい事は2020年度、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、今までの県士会運営とは大きく違った事をしていかなければいけない状況となった事です。

理事として1期をやらせていただきましたが、今年度さらなる変化が要求されています。現在の状況でどうしたら県士会会員により良い事を出来るのか、県民の方により良い活動ができるのかを常に考え、理事として活動していきたいと考えております。

まずは県士会員への研修会等の活動をしっかりと行う事、公開講座等で県民の方への周知活動を行う事、それらの方法を検討し、より多くの人へと伝える事が出来るように活動したいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

# 立候補者広報 10

## 《理事立候補者》

真下 和貴

デイリハセンターうちリハ深谷

### 〈推薦趣旨〉

今回、推薦させて頂いた真下和貴氏は、日頃より深谷市を中心に、デイリハセンターうちリハ深谷の運営を手掛け、地域にご活躍頂きつつも、北部の運営委員としてもご尽力いただいている方です。

人望も厚く、リーダー性のある真下氏を理事としてお招きする事で、北部ブロックとしても更に活性化を図れると思い、推薦をさせて頂きました。また、日頃よりお忙しいので、理事の業務負担を歴代の理事含めた、運営委員全体でサポートする事も理由にご承諾を頂いています。より一丸となってブロック活動を盛り上げる形に導いて下さると思いました。

宜しく願い致します。

〈推薦者〉 田澤 俊亮 (介護老人保健施設 鶴ヶ島ケアホーム)  
大沼 貴広 (東松山医師会病院)  
横山 浩康 (熊谷総合病院)

# 立候補者広報 11

## 《 監事立候補者 》

### 清宮 清美

埼玉県総合リハビリテーションセンター

#### 〈 立候補趣旨 〉

この度、監事に立候補いたしました清宮です。私は理学療法士として埼玉県に就労してから、埼玉県理学療法士会の活動に部長、理事、会長と続けて参画してまいりました。そして前期も監事として活動を見守りさせていただきました。

埼玉県理学療法士会は、会員の皆さまの協力のもと素晴らしい事業展開をしています。我々医療関連職種を取り巻く社会情勢の変遷に対応できる団体として活動できるよう監事としてお手伝いさせていただきたいと思っております。

### 前園 徹

あすなろの郷浦和

#### 〈 推薦趣旨 〉

この度、埼玉県理学療法士会監事に前園徹氏を推薦させていただきます。前園氏は、埼玉県理学療法士会の理事、会長、監事を歴任し、日本理学療法士協会の協会賞も受賞されるなど、理学療法士会の発展に多大なご尽力を頂き、会の発展に貢献され、監事として適任と考えております。このコロナ禍の情勢不安定な時に、士会活動のノウハウを理解し、事業や予算執行に適切な監査を行える能力を保有し、各局委員会の事業執行の管理能力に優れていると思われまます。これらの理由で前園徹氏を監事に推薦いたします。

#### 〈 推薦者 〉

南本 浩之 (春日部厚生病院)  
水田 宗達 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)  
原田 慎一 (リハビリテーション天草病院)